

タイトル「2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)」、フォルダ「大学院危機管理学研究科」  
シラバスの詳細は以下となります。



|               |   |  |    |
|---------------|---|--|----|
| 科目ナンバー        |   |  |    |
| 科目名           | 社会安全・治安維持特講   |  |    |
| 担当教員          | 金山 泰介   |  |    |
| 対象学年          | 2年  | 開講学期   | 前期 |
| 曜日・時限         | 木 3   |  |    |
| 講義室           | オンライン   | 単位区分   | 選  |
| 授業形態          | 講義  | 単位数  | 2  |
| 科目大分類         | —   |  |    |
| 科目中分類         | 修士  |  |    |
| 科目小分類         | 講義・発展   |  |    |
| 科目の位置付け(開発能力) | <p>■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連<br/>DP1-E[学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。<br/>DP4-I[理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンプリック(CR)との関連<br/>C1倫理的思考・社会認識 10%<br/>E1学識と専門技能 50%<br/>G1状況把握 10%<br/>I1理解・分析と読解 10%<br/>I2量的分析 10%<br/>I3情報分析 10%</p> |  |    |
| 教員の実務経験       | 警察庁、都道府県警察、内閣官房、在タイ日本大使館等34年間の実務経験を基に、警察行政の制度及びその企画、立案、執行の各段階について具体的に説明します。(第3～13回)   |  |    |
| 成績ターゲット区分     | ■能力開発の目標ステージとの対応<br>3発展期～4 定着期  |  |    |
| 科目概要・キーワード    | 治安維持行政すなわち社会安全政策を中心にその政策立過程、実施、効果について理解することを目的とします。具体的には、警察法及び警察官職務執行法等警察行政法運用の理念・倫理を理解した上で、公共空間及び親密圏での犯罪予防、テロ、サイバー犯罪等の国際的な取組、組織犯罪対策と違法収益剥奪の在り方、国内の反社会的勢力対策や少年非行対策等幅広く今日の警察が直面する諸課題についての理解を深めることを目標とします。授業形態は、オンライン(オンデマンド)形式で行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、対面又はオンライン(ZOOM)による授業を一部取り入れる場合があります。(キーワード)社会安全政策、犯罪対策・治安行政                 |  |    |
| 授業の趣旨         | <p>■副題 社会安全政策を学ぶ。</p> <p>■授業の目的<br/>治安行政は、平成期に入り犯罪急増等により国民の関心が高まるとともに、配偶者暴力、ストーカー、児童虐待等の新規立法が相次いで行われるなど大きく進展している。また、サイバーセキュリティ、経済安全保障が新たな課題として台頭する中、展開されている社会安全政策の背景、内容を理解すること。</p> <p>■授業のポイント<br/>社会安全政策は、犯罪や社会の変化、国民意識の変化等に対応するため、その都度、制度や内容が変更されていることからその背景を理解すること。</p>   |  |    |
| 総合到達目標        | <p>■一般目標(GIO)<br/>近年の警察行政の進展の背景、内容について自分の言葉で説明できるようになること。</p> <p>■個別行動目標(SBOs)<br/>・社会安全政策の基本的考え方を説明できる。(第1～2回)<br/>・社会安全政策策定の担い手及びその過程を説明できる。(第3～5回)<br/>・現在の社会安全政策の課題を説明できる。(第6～13回)</p>  |  |    |
| 成績評価方法        | 社会安全政策に関する選択した課題についての40分程度の報告を第14～15回の授業で求めるので、それによって評価する。  |  |    |
| 履修条件          | 特になし。   |  |    |
| 履修上の注意点       | 平素から、新聞、ニュースの治安関係の話題に関心を向けること   |  |    |
| 授業内容          | 回   | 内容   |    |
|               | 1   | ①授業テーマ ガイダンス<br>②授業概要 講義の項目、評価方法を理解する。<br>③予習(60分) シラバスの精読<br>④復習(60分) 講義ノートを整理し自らの学習計画と他の履修科目との関係について検討する。  |    |
|               | 2   | ①授業テーマ 社会安全政策論とは<br>②授業概要 社会安全政策論の意義、射程、理論的基礎等(E)を説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1)<br>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、社会安全政策の意義を考察する。<br>④復習(120分) 講義ノートを整理し、社会安全政策の基本的な考え方をまとめる。 |    |
|               | 3   | ①授業テーマ 犯罪統計と犯罪情勢の推移<br>②授業概要 戦後の犯罪情勢の変化を包括罪種別に概観するとともに我が国の犯罪統計について(I)、その特徴を海外統計と   |    |

|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>の比較において説明できるようになる。担当教員の実務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1・I2)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪統計の対象を理解する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、犯罪統計におけるキーワードを記憶する。</p>  |
| 4           | <p>①授業テーマ 犯罪被害者支援</p> <p>②授業概要 犯罪被害者に対する支援の拡大について(E)、歴史的な背景及び現行の法制度について説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪被害者支援の意義を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、犯罪被害者基本計画の枠組みをまとめる。</p>   |
| 5           | <p>①授業テーマ 犯罪予防の理論と再犯防止</p> <p>②授業概要 犯罪予防の理論の発展と応用の歴史並びに再犯防止の取組について(E)、その概要を説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪被害者支援の意義を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、犯罪予防の理論に基づく犯罪防止対策を確認する。</p>   |
| 6           | <p>①授業テーマ 生活安全警察 I (安全安心なまちづくり等犯罪抑止対策)</p> <p>②授業内容 公共空間における犯罪防止政策の変遷と現状(E)を犯罪予防の理論の適用を踏まえて説明できるようになる。(E1・I1)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、犯罪予防の重要性を理解する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、犯罪予防の理論に基づく各種施策をまとめる。</p>  |
| 7           | <p>①授業テーマ 家庭等親密圏の安全</p> <p>②授業概要 配偶者暴力、ストーカー、児童虐待等親密な関係にある者の間で生ずる事案への対応についての教員の实務経験に即した解説を踏まえ、その変遷と現行法制度(E)を説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、親密圏内とそれ以外の犯罪の違いについて考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、夫婦間暴力、ストーカー対策、児童虐待対策に共通する政策的考え方についてまとめる。</p> |
| 8           | <p>①授業テーマ 反社会的勢力への対処</p> <p>②授業概要 暴力団等反社会的勢力への対処について、歴史的な背景及び法制度の変遷(E)を説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2・I3)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、暴力団対策の歴史を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、暴力団対策の変化と社会意識の変化についてまとめる。</p>  |
| 9           | <p>①授業テーマ 道路交通安全の安全</p> <p>②授業概要 道路交通安全政策についての諸対策について、その変遷及び現行法制度(E)について説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(E1・G1・I1・I2・I3)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、道路交通安全対策の基本的な事項を考察する。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、道路交通安全対策の評価についてまとめる。</p>  |
| 10          | <p>①授業テーマ サイバー警察</p> <p>②授業内容 サイバー事案対策の推移と現行法制度(E)について説明できるようになる。教員の实務経験に基づき具体的に説明します。(C1・E1・I1・I2)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する講義資料及びテキスト該当部分を精読し、サイバーセキュリティ基本法の基本条項に目を通す。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、サイバー犯罪被害の届け出率が低い理由を考察する。</p>   |
| 11          | <p>①授業テーマ 安全保障と刑事司法</p> <p>②授業概要 国家の安全保障にかかわる外国による諜報活動、技術情報流出、テロ等に対処するための刑事司法制度について説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2・I3)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する資料及びテキストの該当部分を精読し、経済安全保障推進法に目を通す。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、テロの終結方策を考察する。</p>  |
| 12          | <p>①授業テーマ 近年の刑法改正</p> <p>②平成以降の刑法改正についてその背景と内容について説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2・I3)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する資料及びテキストの該当部分を精読し、令和5年改正刑法に目を通す。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、不同意性交等罪の検挙件数増加の要因を考察する。</p>  |
| 13          | <p>①授業テーマ 刑事司法改革</p> <p>②授業概要 裁判員制度導入を中心とした刑事司法改革の背景と内容について説明できるようになる。担当教員の实務経験に基づいて具体的に説明します。(C1・E1・G1・I1・I2・I3)</p> <p>③予習(120分) 事前に配布する資料及びテキストの該当部分を精読し、裁判員制度に関する最高裁報告に目を通す。</p> <p>④復習(120分) 講義ノートを整理し、合意制度の運用推進方策を考察する。</p>   |
| 14          | <p>①授業テーマ 研究報告(対面又はZOOM)</p> <p>②授業概要 履修者が予め選択した課題について報告するとともに、履修者間で討議する。(E1・F1・J2・K2・L1・M1)</p> <p>③予習(120分) 報告の準備</p> <p>④復習(120分) 報告での討議を整理する。</p>   |
| 15          | <p>①授業テーマ 研究報告(対面又はZOOM)</p> <p>②授業概要 履修者が予め選択した課題について報告するとともに、履修者間で討議する。(E1・F1・J2・K2・L1・M1)</p> <p>③予習(120分) 報告の準備</p> <p>④復習(120分) 報告での討議を整理する。</p>   |
| 関連科目        | 危機管理法4(行政・国家)   |
| 教科書         | 「新版 警察行政概論」金山泰介 立花書房(2019)  |
| 参考書・参考URL   | 犯罪白書各年版、警察白書各年版   |
| 連絡先・オフィスアワー | 初回授業時に告知する。   |
| 研究比率        | <p>■危機管理領域との対応</p> <p>パブリックセキュリティ(70%) 災害マネジメント(10%) グローバルセキュリティ(10%) 情報セキュリティ(10%)</p> <p>■危機管理学と法学のバランス</p> <p>危機管理学(70%) 法学(30%)</p>   |

